



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社JCU
コード番号 4975 URL <http://www.jcu-i.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 粕谷 佳允

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役専務執行役員 管理本部長 (氏名) 上谷 正明

TEL 03-6895-7001

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,760	17.8	1,557	71.8	1,563	82.5	884	67.5
24年3月期第3四半期	9,134	0.6	906	△25.1	857	△27.2	528	△17.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 918百万円 (188.9%) 24年3月期第3四半期 318百万円 (△42.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	250.90	—
24年3月期第3四半期	149.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,536		6,973			47.8
24年3月期	13,196		6,256			47.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,946百万円 24年3月期 6,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
25年3月期	—	35.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当の内訳は、普通配当35円、記念配当10円です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	22.3	1,900	71.8	2,000	86.2	1,150	56.0	326.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年2月4日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	3,527,400 株	24年3月期	3,527,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	133 株	24年3月期	133 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	3,527,267 株	24年3月期3Q	3,527,278 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調となりましたが、過度な円高により輸出産業は依然として厳しい状況が続きました。また、世界経済におきましても欧州債務問題の長期化や中国の景気減速などにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、海外における薬品及び装置の販売が好調に推移したことにより、売上高は10,760百万円（前年同期比17.8%増）となりました。この結果、営業利益は1,557百万円（前年同期比71.8%増）、経常利益は1,563百万円（前年同期比82.5%増）、四半期純利益は884百万円（前年同期比67.5%増）とそれぞれ前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、国内販売は前年同期とほぼ同等でありましたが、韓国、中国、台湾におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が伸長し、売上高は7,969百万円（前年同期比2.2%増）となりました。この結果、セグメント利益は、2,320百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

(装置事業)

装置事業におきましては、海外日系企業向けめっき装置の販売が好調に推移し、売上高は2,201百万円（前年同期比83.3%増）となりました。この結果、セグメント利益は、178百万円（前年同期はセグメント損失43百万円）となりました。

(新規事業)

新規事業におきましては、プラズマ装置販売、太陽光パネル設置が順調に推移し、売上高は593百万円（前年同期比352.4%増）となりましたが、販売費および一般管理費をまかなうまでには至らず、セグメント損失は、240百万円（前年同期はセグメント損失302百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1,340百万円増加し、14,536百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、1,453百万円増加し、9,911百万円となりました。

固定資産は、のれんの償却の進行や商号変更に伴う社名使用許諾料の早期償却によるその他固定資産の減少等により、113百万円減少し、4,625百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、623百万円増加し、7,563百万円となりました。

流動負債は、主に装置受注の前受金の増加等により、1,063百万円増加し、5,353百万円となりました。

固定負債は、借入金返済による長期借入金の減少等により、439百万円減少し、2,209百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、716百万円増加し、6,973百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成24年8月3日の「平成25年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成25年2月4日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,374,538	3,734,629
受取手形及び売掛金	3,107,772	4,077,094
有価証券	73,860	—
商品及び製品	595,506	568,676
仕掛品	278,491	279,213
原材料及び貯蔵品	238,584	258,139
繰延税金資産	235,861	169,596
その他	580,621	861,764
貸倒引当金	△27,747	△37,627
流動資産合計	8,457,489	9,911,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,735,954	1,739,737
機械装置及び運搬具（純額）	365,815	325,648
工具、器具及び備品（純額）	237,726	269,995
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	137,396	129,311
建設仮勘定	20,583	19,206
有形固定資産合計	3,020,300	3,006,722
無形固定資産		
のれん	229,447	190,758
その他	41,419	29,825
無形固定資産合計	270,866	220,583
投資その他の資産		
投資有価証券	913,919	903,005
繰延税金資産	259,495	256,937
その他	308,473	251,345
貸倒引当金	△33,813	△13,252
投資その他の資産合計	1,448,075	1,398,036
固定資産合計	4,739,242	4,625,342
資産合計	13,196,732	14,536,829

(単位：千円)

前連結会計年度
(平成24年3月31日)当第3四半期連結会計期間
(平成24年12月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,188,478	2,669,236
短期借入金	78,988	9,075
1年内返済予定の長期借入金	799,008	690,008
リース債務	9,068	7,732
未払法人税等	157,208	407,459
賞与引当金	253,155	168,641
前受金	207,201	711,317
繰延税金負債	1,311	5,526
その他	596,098	684,871
流動負債合計	4,290,517	5,353,866
固定負債		
長期借入金	1,628,360	1,123,354
リース債務	156,254	150,419
退職給付引当金	612,573	682,593
資産除去債務	171,002	173,895
その他	81,291	79,537
固定負債合計	2,649,481	2,209,799
負債合計	6,939,999	7,563,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,255	1,176,255
資本剰余金	1,128,904	1,128,904
利益剰余金	4,522,747	5,178,469
自己株式	△219	△219
株主資本合計	6,827,688	7,483,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△116,815	△124,082
繰延ヘッジ損益	—	2,097
為替換算調整勘定	△451,335	△414,818
その他の包括利益累計額合計	△568,151	△536,803
少数株主持分	△2,803	26,555
純資産合計	6,256,733	6,973,163
負債純資産合計	13,196,732	14,536,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	9,134,102	10,760,725
売上原価	4,613,504	5,348,058
売上総利益	4,520,597	5,412,667
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,107,068	1,220,992
賞与	349,543	392,971
退職給付費用	80,608	84,976
減価償却費	182,509	237,422
貸倒引当金繰入額	9,700	12,445
その他	1,884,784	1,906,685
販売費及び一般管理費合計	3,614,215	3,855,494
営業利益	906,382	1,557,173
営業外収益		
受取利息	10,254	16,309
受取配当金	16,636	16,746
助成金収入	5,245	248
受取保険金	1,012	—
その他	2,262	7,343
営業外収益合計	35,411	40,647
営業外費用		
支払利息	27,527	25,393
為替差損	37,185	5,770
持分法による投資損失	17,816	247
その他	2,143	2,432
営業外費用合計	84,673	33,844
経常利益	857,120	1,563,976
特別利益		
固定資産売却益	2,740	2,180
負ののれん発生益	48,071	—
特別利益合計	50,811	2,180
特別損失		
固定資産売却損	659	—
固定資産除却損	840	1,904
投資有価証券売却損	11,914	—
減損損失	—	13,970
社名変更費用	—	70,017
本社移転費用	22,559	—
段階取得に係る差損	10,675	—
特別損失合計	46,649	85,893
税金等調整前四半期純利益	861,281	1,480,263
法人税、住民税及び事業税	192,422	518,135
法人税等調整額	136,164	72,781
法人税等合計	328,586	590,916
少数株主損益調整前四半期純利益	532,694	889,347
少数株主利益	4,339	4,352
四半期純利益	528,355	884,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	532,694	889,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,535	△7,267
繰延ヘッジ損益	—	2,097
為替換算調整勘定	△129,466	34,774
持分法適用会社に対する持分相当額	5,372	△2
その他の包括利益合計	△214,628	29,602
四半期包括利益	318,066	918,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,373	916,342
少数株主に係る四半期包括利益	△307	2,607

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,801,369	1,201,465	131,266	9,134,102	—	9,134,102
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,801,369	1,201,465	131,266	9,134,102	—	9,134,102
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,921,727	△43,228	△302,324	1,576,173	△669,791	906,382

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	41
全社費用※	△669,832
合計	△669,791

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
減損損失	—	—	—	—	11,828	11,828

減損損失の調整額11,828千円は、平成23年11月に実施の当社本社の移転に伴うものであります。なお、当該減損損失は、損益計算書の表示上は本社移転費用22,559千円の中に含まれております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
負ののれん発生益	—	—	48,071	48,071	—	48,071

当第3四半期連結累計期間において、当社の持分法適用関連会社であった深圳森荏真空镀膜有限公司(現傑希優科技(深圳)有限公司)の持分を追加取得し、連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,969,755	2,201,912	589,058	10,760,725	—	10,760,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4,771	4,771	△4,771	—
計	7,969,755	2,201,912	593,829	10,765,497	△4,771	10,760,725
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,320,999	178,251	△240,934	2,258,316	△701,142	1,557,173

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△1,171
全社費用※	△699,970
合計	△701,142

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
減損損失	—	—	13,970	13,970	—	13,970

傑希優科技（深圳）有限公司における一部の事業用資産について、使用中中止の意思決定を行い、将来の使用計画がないことから、遊休資産として帳簿価額を回収可能価額まで減額したものであります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、業務拡大及び業務効率化を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「薬品事業」「海外事業」「装置事業」「新事業」の4事業から、「薬品事業」「装置事業」「新規事業」の3事業とすることといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。